住 所

会社名

(第一類•	可燃性固体類	• 合成樹脂類)	氏	夕
(加一/炽	可然江田門		14	1

物品名									
製造会社 又は 輸入会社	住所 Tel 名称								
組成	全成分(化学名)及びそれぞれの含有率(重量%)								
状 態 (○印)	塊状 ・ 棒状 ・ 粉粒状 ・ ペースト状 ・ その他()								
粒度分布									
	小ガス炎着火試験 着火時間 秒								
試験結果	引火点測定試験(セタ) 引火点 °C 試験データは 別 添								
	燃焼熱量 k J/g 融 点 ℃ 酸素指数								
総合判定	I 第一種可燃性固体 II 第二種可燃性固体 III 引火性固体 IV 非危険物								
品 名	第二類 指定可燃物 (可燃性固体類 · 合成樹脂類) 非危険物								
その他	第三者への確認書の交付 (可 · 不可) 用途: 連絡担当者 Tel メールアドレス								
※備 考	S F1 F2 D1 D2								
※登録番号									

注1) 必要事項を記入し、該当する項目を○で囲むこと。

注2) ※印の欄は記入しないこと。

(A4)

弒	験 名	小ガス炎着火試験			
試 験 実 施 日		年	月	日	
試覧	強 場 所				
試 験	主実施者				
試り	策 条 件	温度 (℃) 湿	度(%)		
無機	質断熱板	種類 厚さ(mm) 熱伝導率	(W/(m⋅°C))	
簡易	着火器具	種類	火炎县	表さ(mm)	
試 験	:物 品 名				
	1 回目	秒()	6 回 目	秒 ()	
着	2 回 目	秒()	7 回 目	秒 ()	
火	3 回 目	秒()	8 回 目	秒 ()	
	4 回目	秒()	9 回 目	秒()	
時	5 回目	秒()	10 回 目	秒 ()	
間	最小値		秒		
	()の記入:○は接触中にすべて燃焼、離炎後10秒以内にすべて燃焼 又は離炎後10秒以上燃焼継続				
判 (定(○印)	※ (易着火性 ・	着火性·	危険性なし	

注1) 10回を超える測定結果については別紙

..... (危険性なし)

試	験 名	引火点測定試験	引火点測定試験						
引火	点測定器具	セタ密閉式	セタ密閉式 ・ その他 ()						
試 験 実 施 日			年		月	日			
試験場所									
試 験 実 施 者									
試 験 条 件		温度(°C)	湿度(%)	気圧(hPa)		
試 験 物 品 名									
試	1 回 目		૧	C					
験結	2 回 目		ે	C					
果	平均値		જ	С	補正値			$^{\circ}\! \mathbb{C}$	

注)引火点をクリーブランド開放式引火点測定器により測定した場合には、試験結果欄に設定温度を()書きで併記すること。

試	験 名	引火点測定試験				
引火	点測定器具	タグ密閉式				
試 験	実 施 日		年	月	日	
試り	険 場 所					
試 験	実 施 者					
試り	魚 条 件	温度(℃) 湿度(%)	気圧(hPa)
試 験	物品名					
試	1 回 目	設定温度	(℃) 測	定値(°C)
験結	2 回 目	設定温度	(℃) 測	定値(°C)
果	平均値		$^{\circ}\!$	補正信	直	${\mathbb C}$

注)20℃で固体、40℃で液状の場合に、タグ密閉式引火点測定を実施すること。

試 験 名	燃焼熱量(総発熱量)測定
測定方法	JIS M8814 ・ 計算 ・ その他 ()
試験実施日	年 月 日
試 験 場 所	
試験実施者	
試験条件	温度 (℃) 湿度 (%) 気圧 (hPa)
試験物品名	
測定結果	k J⁄g

- 注1) 引火点が100℃以上の場合に測定すること。
- 注2) 計算により燃焼熱量を求めた場合には、計算式を別紙として添付すること。

試 験 名	融点測定
測定方法	JIS K0064 ・その他 ()
試験実施日	年 月 日
試 験 場 所	
試験実施者	
試 験 条 件	温度 (
試験物品名	
測定結果	$^{\circ}$

- 注1) 引火点が200℃以上の場合に測定すること。
- 注2) 純品の場合には、文献値をもって測定結果に替えてさしつかえないこと。なお、この場合 には測定方法欄の()内に文献名を記入すること。

	試馬	魚 名	酸素指数測定					
	測定	方 法	J I S K 7 2 0	1				
	試験多	 尾施日			年	月	日	
	試 験	場所						
	試験多	実施者						
	試 験	条件	温度(℃	C)	湿度(%)	気圧(hPa)
	試験物	勿品名						
試	作	製方法						
験	形物	犬・寸法						
片	支	持 方 法						
測			窒素流量 (l /min)		酸素流量 (l /min)		燃焼時間 (min)	酸素指数
定	1	回目						
結	2	回 目						
果	平	均値	_					

注) 2回を超える測定結果については別紙

討	大 験 名	酸素指数測定法					
測	1定方法	粉粒状又は	融点の低い台	合成樹脂の試験	験方法		
試	大 験実施日			年	月	日	
括	、験場所						
話							
話	大験条件	温度(°C)	湿度(%)	気圧(hPa)
括	 大験物品名						
試	大 験 片	形状	(粉粒状・-	その他)	寸法()	
		酸素濃度 (%)	燃焼率 (%)	酸素濃度 (%)	燃焼率 (%)	酸素濃度 (%)	燃焼率 (%)
	酸						
測	酸素濃度と燃焼率						
	燃焼						
	率						
定							
	酸		100 換)			
結	素濃		算 燃				
	度と		焼率				
	換 算		%				
果	燃焼						
	率		(- Ville /		
				酸素	影 濃 度 (%)	

試験名	液状確認				
試験実施日		年	月	日	
試 験 場 所					
試験実施者					
試 験 条 件	温度(℃) 湿度(%) 気圧 (hPa)
試験物品名					
恒温槽の温度			$^{\circ}$ C		
確認結果			秒		